

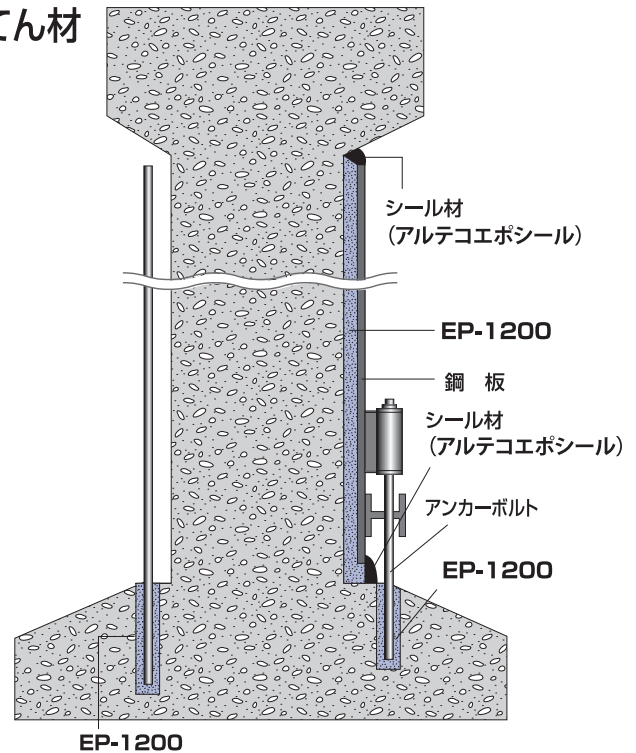
土木建築用低粘度形エポキシ樹脂

アルテコ EP-1200

NEXCO、国土交通省適用品
JAIA F☆☆☆☆/4VOC基準適合
登録製品

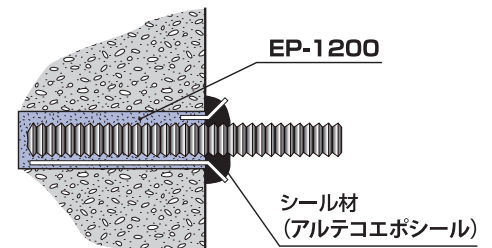
用途

- コンクリート構造物の定着アンカー用充てん材
- 鋼板巻立て注入材
- 床版補強用注入材
- ひび割れ注入材
- 各種アンカー、ボルトの固定・接着



特長

- ・機械的強さと接着性に優れ、高いアンカー性能を発現します。
- ・流動性がよいため、充てんや注入が容易です。
- ・湿潤面にも使用可能です。
- ・揮発性分を含まない無溶剤タイプです。
- ・硬化後の肉痩せがほとんどありません。
- ・刺激臭を極力抑えているため、作業環境を悪化させません。



横向きアンカー施工例

施工方法

<p>① さく岩機・ダイヤモンドコアドリル等での穿孔</p> <p>母材穿孔 穿孔機器使用 穿孔長・径確認</p>	<p>② エアブロー・ブラシ水洗</p> <p>孔内清掃</p>	<p>③ ハンドミキサーによる混合 (約2分間)</p> <p>EP-1200樹脂混合 主剤+硬化剤 (主剤の缶内で混合) ※少量の場合は秤で計算 混合比 (重量比) 主剤:硬化剤=100:40</p>	<p>④ EP-1200樹脂注入 鉄筋を挿入してからの注入も可能</p>	<p>⑤ 鉄筋挿入 キャンバーにて固定 鉄筋倒れ修正</p>
--	---	--	--	--

性状

項目	EP-1200 (S) 夏用		EP-1200 (W) 冬用	
	主 剤	硬化剤	主 剤	硬化剤
主成分	変性エポキシ樹脂	変性ポリアミン	変性エポキシ樹脂	変性ポリアミン
外観	無色透明液体	淡黄色透明液体	無色透明液体	淡黄色透明液体
混合比 (重量比)	主剤：硬化剤=100：40		主剤：硬化剤=100：40	
混合粘度 (20℃)	1000±500mPa・s		1000±500mPa・s	
可使用時間 (20℃)	60分		30分	

硬化物 物性

項目	単位	社内規格値	試験方法
比重		1.18±0.05	JIS K 7112
圧縮降伏強さ	N/mm ²	60以上	JIS K 7181
圧縮弾性率	N/mm ²	1.5x10 ³ 以上	JIS K 7181
曲げ強さ	N/mm ²	50以上	JIS K 7171
引張強さ	N/mm ²	35以上	JIS K 7113
引張りせん断接着強さ	N/mm ²	14以上	JIS K 6850
硬度	HDD	80以上	JIS K 7215
衝撃強さ	kJ/m ²	3.0以上	JIS K 7111

養生条件:20℃×7日 物性測定温度:20℃

梱包容量



14kgセット (主剤10kg・硬化剤4kg)

アンカー施工例

異形棒鋼(D) ネジ(M)の呼び	穿孔径 (mm)	穿孔長 (mm)	必要樹脂量 (g)	1セットあたりの 施工可能本数(本)	鋼材降伏点 (kN)	許容引張り応力 (kN)
D25	36.0	380	275	50	174.8	116.5
D29	40.0	440	382	36	221.8	147.9
D32	42.0	480	401	34	274.0	182.7
D35	46.0	530	529	26	330.0	220.0
D38	50.0	570	664	20	393.3	262.2
D41	55.0	620	908	15	462.3	308.2
D51	65.0	770	1406	9	699.3	466.2
M20	30.0	300	196	70	57.6	38.4
M22	32.0	320	227	61	71.2	47.5
M24	34.0	340	267	51	83.0	55.3
M27	38.0	380	363	38	107.9	71.9
M30	40.0	400	394	35	131.1	87.9
M33	44.0	440	514	26	163.1	108.7
M36	46.0	460	550	25	192.0	128.0

●必要樹脂量は作業ロス率を20%として算出した量です。 ●異形棒鋼の鋼材降伏点はSD345の基準強度345N/mm²に公称断面積を乗じた数値です。 ●全ネジボルトの鋼材降伏点はSS400の基準強度235N/mm²に有効断面積を乗じた数値です。 ●丸棒など平滑な表面のものは十分な強度を発揮しないことがありますので、使用しないでください。
●1セットあたりの施工可能本数(本)は目安です。

注意事項

1.使用上の注意事項

●皮フに付着したり、蒸気を吸入すると、かぶれや中毒を起こす恐れがある。 ●火気のある場所では使用しない。 ●作業中は換気を良くする。 ●取り扱い中は皮フに触れないようにし、有機ガス用防毒マスク、または送気マスク、長袖の作業衣、保護手袋、保護眼鏡を着用する。 ●容器からこぼれた場合は砂などを散布した後、処理する。 ●取り扱いは、手洗いおよびうがいを行う。 ●作業衣などに付着した場合は、その汚れをよく落とす。

2.応急処置

●皮フに付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは医師の診断を受ける。 ●眼に入った場合には、多量の水で洗い、すみやかに医師の診断を受ける。 ●蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。 ●誤って飲み込んだ場合にはできるだけ早く医師の診断を受ける。

3.保管上の注意事項

●使用後はしっかりとふたをして、一定の場所を定めて貯蔵する。 ●子供の手の届かないところに保管する。 ●直射日光のあたらない5～35℃の乾燥した場所で保管する。

4.その他の注意事項

●本製品以外の材料と混合しない。 ●5℃以下の環境温度では硬化が極端に遅くなる。 ●混合する量は、可使用時間内に使い切ることができる量にする。一度に多量に混合すると、急激に発熱し、可使用時間が短くなる場合がある。 ●火災時には粉末、または二酸化炭素(ABC型)消火器を用いる。 ●中身を使い切ってから廃棄する。

*このカタログの数値は諸条件により実際の数値と一致しない場合があります。ご使用にあたっては使用条件に適合するかどうか、十分なテストの実施をお願いいたします。
*このカタログに記載された商品の仕様、デザイン、外観などは、予告なしに変更することがあります。

*詳細は安全データシート(SDS)をご参照ください。

●代理店

株式会社 アルテコ



■本 社 〒567-0032 大阪府茨木市西駅前町5-8 TEL.072-627-1623 FAX.072-627-1633

■ホームページ <http://www.alteco.co.jp>■E-mail info@alteco.co.jp